

WORK LS ADAMAS

シンプルな星型ディッシュデザインに思えるが、開発段階から G クラスを視野に入れ、この完成形に至るまでに 10 デザイン以上を試行錯誤しつつ世に放たれたワークの 2025 年最新モデルの「LS アダマス」。撮影に用意したスーパークロームメッキは大型高級 SUV である G クラスの 5H/130 とランドクルーザー 300 の 6H/139.7 との 2 種類にのみ設定が許された車種限定の選ばれしホイールなのだ

文/木村隆之 写真/年岡尚利 text by KIMURA Takayuki photos by TOSHIOKA Natoshi

現代では貴重な高貴なクローム。まさにGにこそ相応しい



“ザ・ディッシュ”という表現がピッタリな王道のディッシュデザイン。スポーク部分こそ水平ながら、ディスク部分は緩やかにコンケイブされ平面感を払拭させている

純正オーバーフェンダーにピッタリとツライチにおさまる24インチのLS アダマス (F10.5J×24インセット21 R10.5J×24インセット24)。タイヤはNITTO NT420V (295/30R24)



SIZE&COLOR VARIATION SIZE

21×8.0 ~ 21×13.0	¥212,300 ~ ¥300,300
22×8.0 ~ 22×13.0	¥226,600 ~ ¥314,600
24×8.5 ~ 24×13.5	¥266,200 ~ ¥387,200

カラー：スーパークロームメッキ・SC、ブラッシュド・BRU、ブラックアルマイト・SKB

問：ワーク
東日本コールセンター TEL.048-688-7555
西日本コールセンター TEL.06-6746-2859
中日本コールセンター TEL.052-777-4512
<https://www.work-wheels.co.jp>



G KLASSE
CUSTOM G



WORK LS ADAMAS



ディスクの頂点を境にリム側、センター側へと落とし込んだディスクは非常になだらかなコンケイブを描く。スポーク間の台形ホールには3D形状のリップを一段設けたキャラクターデザインを備え、リムへと繋がる部分に奥行きと立体感を与え、陰影が付くことで表情が変わる演出だ

ワークのLSといえばラグジュアリー全盛期から今も継続して脈々と作り続けられているブランドだ。このアダマス、これほどシックリとハマるスタイリングなのに、不思議な事にこれまで設定されていなかったオーソドックスな星型ディッシュデザインを採用しているのに驚く。ダイヤモンドの語源である「屈しない」「征服されざる者」に由来するネーミングを持ち、最強で不滅の美を追求するブランド哲学を映し出したシンプルな5スポークディッシュ。さらにその製法は大口径の鍛造削り出しディスクを採用した3ピース構造。各パートにこだわった部材を使用し、その全てを集大成させたまさに逸品。ワークのGクラス装着可能モデルとしてはまさに最高峰のモデル。このLSアダマス、ディスク、リム、ピアスポルトの色変更、特殊P.C.D.製作、細部のエアバルブ含め、各部をオリジナル化できるカスタムオーダープランも用意される。ぜひ貴方のGの足元を飾って欲しい。



世間一般には3Dクロームとも呼ばれるこの「スーパークローム」。天面だけではなくディスクの脇部分、ピアスポルトなど全ての部位に丁寧にメッキを掛けているのが特徴だ。同モデルの色別比較でもフィニッシュによる価格差は、約7万(1本)近くと価格面でも最高峰だが、それに見合うだけのインパクトが得られる。メッキ塗装のモデルでは、路面へと菱形の光の反射を映し出すのも特徴だ



台形ホールのカットされた部分にも大きな丸(サークル)が弧を描くサマを想定しディスクをデザイン。その作り込みも担当デザイナーのこだわりとか。フルリバース形状のストレートナリムは、その深さにF83mm F96mmの上品かつ高級感のある奥行きを確保している

最高峰SUVにのみ許された大口径24インチの輝き

欧州車系カスタムならお任せの老舗ショップ!

今回撮影のGクラスはもちろんのこと、欧州系輸入車から国産車のカスタム、メンテナンス全般までを幅広く取り扱うピレリ四日市。今年の8月で25周年を迎える老舗ショップだ。こちらの詳細な情報は次号にて。



G CUTO SHOP ピレリ四日市

所在地: 三重県四日市市新正4丁目11-18
TEL: 059-354-5605
営業時間: 10:00~19:00
定休日: 火曜/水曜日
<https://www.eurospeed.jp>